

がんに関する教育普及推進協議会の取組

平成27年度普及推進協議会は、保健所の医師、県健康増進課職員、公立小中学校等及び県立学校の校長、指導教諭、教諭、養護教諭で構成されています。



現在、普及推進協議会委員が小・中・高の系統性を意識し、学習指導要領に沿った指導参考資料の作成に取り組んでいます。平成28年度中に県内の各学校に配付する予定です。

系統性



(国富町立本庄小学校の取組)
第6学年 体育科(保健)学習
単元名 「病気の予防」



(宮崎大学教育文化学部附属中学校の取組)
第3学年 保健体育科(保健分野)
単元名「健康な生活と病気の予防」



(県立富島高等学校の取組)
第2学年 LHR
題材名 「これからの自分
(がんに立ち向かう)」



がんを正しく理解する学習(保健学習)を年間1時間、健康といのちの大切さについて考える学習(学級活動等)を年間1~2時間実施することを推進します。

普及推進のための講演会開催



県保健主事研修会(県学校保健会主催)

演題 : がん(教育)の現状と課題

講師 : 国立がん研究センターがん統計解析研究室
室長 片野田 耕太 氏

講演会の Point

- 「多くのがんは生活習慣で予防できることから、がんにならないための生活習慣に関する教育が重要です。」
- 「二人に一人が一生のうちがんにかかる現状ですが、がんにかかっても、早く発見して、適切に治療することで、普段の生活に戻ることができます。」